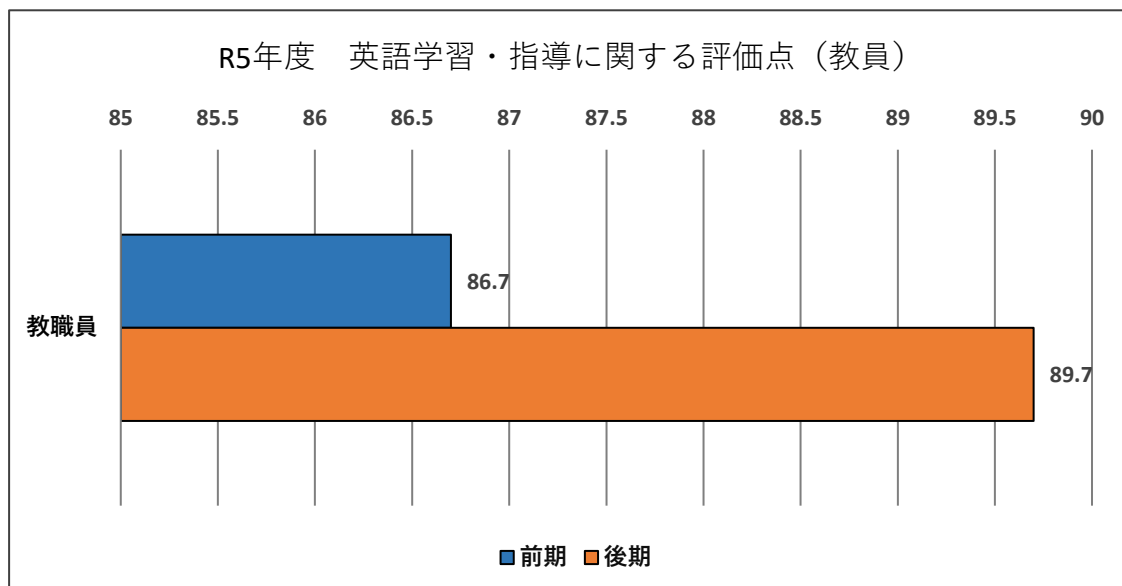


令和5年度 英語学習に関する学校評価



○実施時期 前期：7月・後期：12月

○質問項目

教職員：子どもたちが関心や意欲をもって英語の学習に取り組めるように工夫し、その成果が現われてきた。

(とてもそう思う・そう思う・あまり思わない・まったく思わない)

※評価点について、【強い肯定】【弱い肯定】【弱い否定】【強い否定】の4段階で評価。その結果を【強い肯定】100点、【弱い肯定】75点、【弱い否定】25点、【強い否定】0点として得点化しました。50点で【ふつう】と考えています。

○考察

METとの連携が定着してきており、前後期の評価点の差が前年度に比べて小さくなっている。年度当初から英語指導が軌道に乗っており、職員が英語の授業を重ねることで、指導の自信や工夫する意欲も高まっているように感じる。また、そのことで児童の英語への意識が高まったり、理解が定着したりしてきたのではないだろうか。今後もMETと連携した授業づくりを意識し実践を深めていきたい。